



躍動の会

県議会議員団
県政報告
2025年10月号



明石市

きしくち

岸口 みのる

誠実な政治を行う覚悟。

兵庫県議会議員団「躍動の会」は、議員定数削減と自己規律の徹底を通じて効率的で透明性の高い県政運営を目指し、兵庫県の立て直しと住民サービスの向上に貢献することを目指しています。そのためにも、県民や企業との対話を通じて具体的な政策提案を行い、齋藤知事の推進する行財政改革を全力で後押しし、兵庫県政を前へ進めてまいります。県民の声に真っ直ぐ向き合い、誠実な政治を行う。それが私たち「躍動の会」の覚悟です。皆さまのご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

令和7年度県政 新たに広がる兵庫の躍動

誰も取り残さない安全安心な兵庫

阪神・淡路大震災30年事業として被災自治体の長や海外の自治体・関係機関の代表などが一堂に会し、「創造的復興サミット」を開催、創造的復興の理念を広く発信しました。

また、進化する犯罪への対応、SNS誹謗中傷の防止対策など地域の安全確保、医療・介護体制の充実、不登校、ひきこもり、ケアリーバーへの支援など一人ひとりの課題に寄り添った対策の充実・強化を図りました。



「創造的復興サミット」を9月20日、神戸市内で開催

若者が輝く兵庫づくり

「若者・Z世代応援パッケージ」の取り組みは2年目に入り、県立大学授業料等無償化など高等教育の負担軽減、県立高校の教育環境の充実・魅力づくり、保育現場の負担軽減、不妊症等に関する支援推進条例の施行など、未来を担う若者が自らの可能性を広げ、個の力がみなぎる兵庫の実現に向け、教育、就職、出産・子育て、住まいまでライフステージに応じた切れ目のない施策を全庁一丸となって取り組んでいます。



高校生の部活動応援など若者の可能性を広げています

万博を契機に地域を活性化

大阪・関西万博の関西パビリオン「兵庫県ゾーン」の来場者は30万人を超え、五国の魅力に触れていただきました。閉幕後も県内各地のフィールドパビリオン等を活かして地域活性化に繋がります。

また、中小企業DX化への支援など地域産業や農林水産業の競争力の強化に取り組んでいます。



兵庫県立美術館の「EXPO TERMINAL」ではフィールドパビリオンの魅力を発信しました

新兵庫県庁舎の整備へ

機能的でコンパクト、高度な災害対応力を発揮できる機能を備えるとともに、県庁周辺の賑わいを創出する県庁舎を目指します。



第372回 9月定例県議会を開催

9月18日～10月22日

生活安定へ補正予算可決

9月定例県議会では、令和7年度補正予算案、令和6年度決算案などを可決・認定いたしました。補正予算の規模は61.4億円で、物価高騰の長期化を踏まえた県民生活の安定、安全安心を確保する緊急対策が実施されます。主な事業は次の通りです。

- ひょうご家計応援キャンペーン「はばタンPay+」第4弾 子育て応援枠の追加
- 防犯カメラの集中整備支援

- 県立学校など避難所指定体育館等への空調整備
- 渇水・高温を踏まえた農業者支援
- 2025大阪・関西万博後の継続した誘客促進



9月議会本会議が開かれた県公館で。左から岸口みのる議員（明石市）、齋藤元彦知事、増山誠幹事長（西宮市）、白井たかひろ政調会長（神戸市灘区）

一般質問

増山 誠 幹事長

9月29日の一般質問では、躍動の会から増山誠幹事長が登壇いたしました。質疑の概要は次の通りです。

1. 県庁記者クラブの廃止について

- Q 報道の自由の精神を尊重する社会づくりを兵庫県から進めていくことが必要。
- A 県政情報の発信と同時に県民の知る権利に応えるため、報道の自由を尊重し、適切な報道対応・運用に取り組む。

2. 県庁周辺における拡声機等による騒音問題について

- Q 近隣住民から苦情が出ており、職員の業務に支障を来す事態に発展している。
- A 個別具体的な状況に応じ法令等に即して判断することとなる。表現の自由との観点から慎重かつ適正に行う。

3. 客引き行為等の防止に関する条例の判断基準の適正化

- Q 取り締まりの実効性を高めるため、一度過料処分となった者はすぐに命令処分から取り締まりを行える方法に変更を。
- A 県としても常習者への対応は課題だと認識している。効果的な対応を議員から提案いただいた手法を含め検討したい。



4. 外国籍の者による乱開発の防止について

- Q 外国籍の者により取得された土地が乱開発され、良好な居住環境や自然環境が壊される、長期に放置されるなど地域に悪影響を及ぼすことが想定される。県の対応を求める。
- A 環境に悪影響を及ぼす乱開発は、関係する部署が密に連携を取りながら適正かつ厳格に対応する。

5. 「知事及び副知事の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例」の継続審査について

- Q 同条例は県職員による情報漏えい事案の管理責任を取るために、給与の減額措置を行うものであり、私は賛成する。事案は誤解で生じた性格のものだと考える。再発防止策等について改めて知事の所見を伺う。
- A 責任は大変重く受け止めており、このようなことが起こらないよう職員の綱紀粛正の徹底、公文書や個人情報
- の適正な取り扱い、情報セキュリティ対策の強化、階層別の研修などを通じて再発防止に努めている。風通しの良い職場づくりを行い、職員とともに県政をしっかりと前に進める。

決算委員会

白井たかひろ 政調会長

9月定例議会では、令和6年度決算案を集中審議する決算特別委員会が設置され、躍動の会から白井たかひろ政調会長が委員に選任されました。



令和6年度兵庫県の決算は、一般会計で歳入2兆3,822億円、歳出2兆3,684億円で、過去6番目の規模。後年度の精算分を除いた実質収支は58億28百万円の黒字を確保しました。

白井政調会長は、税收確保対策の取組内容など財政状況、各部署におけるSNS運用、県庁周辺の学校の授業にも影響を及ぼす抗議行動への公安条例の適用など、総務、企画、県民生活、福祉、土木、まちづくり、公安委員会等の関係部門に対して質疑を行いました。



討論

岸口みのる 議員

10月22日、372回定例県議会の閉会日。表決前に岸口みのる議員が、第77号議案「知事及び副知事の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例」に対し、継続審査に反対し、賛成の立場から討論を行いました。県の保有文書が漏洩したことを踏まえ組織の長として給与を減額し、責任をとるものであり、速やかに賛否を明らかにすべきと主張しました。表決の結果、継続審査となりましたが、会派として早期成立を目指します。

令和8年度当初予算編成に対する重要政策提言

令和8年度県当初予算編成に対する重要政策提言を、躍動の会議員団として齋藤知事に行いました。提言項目は下記の通りです。

I. ひょうごの未来を創る～若者・子育て支援と人材育成～

- 1 子どもを産み育てやすい環境の整備
- 2 ひょうごの教育の充実

II. ひょうごの元気を取り戻す～地元経済の活性化と創生支援～

- 1 地元経済を支える中小零細企業支援
- 2 ポスト万博を見据えた国際交流の拡大
- 3 次世代を見据えた農林水産業への支援

III. ひょうごの安心安全を創る～誰一人取り残さない地域社会の構築～

- 1 地域の医療福祉施策の充実

- 2 さらなる県土の整備と防災・減災への備え
- 3 体感治安の向上と信頼される警察力の強化
- 4 温室効果ガスの削減

IV. ひょうごの基盤を創る

- 1 県民のプライバシー保護
- 2 ペット共生社会の実現
- 3 さらなる行政の磨き上げ
- 4 時代にあった選挙のあり方



重要政策提言の全文は左記のQRコードからご覧ください

予算案への反映を求める増山幹事長

